

平成30年度北陸地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会の議事概要について

日 時 平成31年2月22日(金)13:15～14:45

場 所 北陸地方整備局 4階合同会議室

出席委員

委員長	伊津 良治	弁護士
委員長代理	馬場 健	新潟大学法学部 学部長
委員	雨宮 洋美	富山大学経済学部 准教授
委員	山崎 真	公認会計士

議事概要

1. 議 事

- 1) 平成30年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画の取組状況について
- 2) 平成31年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画(案)について

2. 委員からの意見・質問、それに対する回答等(概要)

意見・質問	回 答
<p><b>【H30推進計画取組状況について】</b></p> <p>・職員研修において、具体例を用いて講義をしたことは評価できる。聞き手側もリアルに考えることが出来るので、今後も続けてもらいたい。</p> <p>・理解度調査について、問題の出し方を三択にするなどして、どういう考えで間違った認識をしているのかが分かるように工夫するとよい。</p> <p>・コンプライアンス携帯カードの携帯状況は如何。また、内容は更新しているのか。</p> <p>・一般監査は3年で一巡するとのことであるが、事務所側はいつ来るのか予測できるのか。</p>	<p>・いただいた意見は今後の参考にしていきたい。</p> <p>・いただいた意見は今後の参考にしていきたい。</p> <p>・携帯の仕方は様々であるが、適正に携帯していることを確認している。現在のものは第二版で平成27年2月に作成したものである。</p> <p>・1年目に該当しなければ2年目か3年目に、2年目も該当しなければ3年目に該当するということは予想がつく。</p>

意見・質問	回 答
<p>・キャリアの違いにより、知識の濃淡があると思うが、講座、ミーティング等で工夫していることはあるか。</p> <p>・いろいろな講座等を実施しているが、職員からアンケートを求めるようなことはしているか。</p> <p><b>【H31推進計画について】</b></p> <p>・取組開始から6年が経ち、取組項目としてはほぼ絞り出せたのではないか。実施にあたっては、理解度調査の問題の出し方、コンプライアンス携帯カードの見直し、講座のやり方など、マンネリとにならないよう工夫してもらいたい。</p> <p>・不祥事が何も起こらないことが、これら取組の成果である。工夫・努力しながら継続的に取り組んでいただきたい。</p>	<p>・研修では、新規採用、5年目といった経験年数に応じて実施している。コンプライアンス</p> <p>・ミーティングでは、若手から課長級までキャリアの幅はあるが「そういう考えもあるのか」という気づきの面もある。</p> <p>・(出前講座においては)アンケートは実施していない。</p> <p>・実施に当たっては、創意工夫しながら、職員のコンプライアンス意識の向上に努めてまいりたい。</p> <p>・実施に当たっては、創意工夫しながら、職員のコンプライアンス意識の向上に努めてまいりたい。</p> <p style="text-align: right;"><b>【以 上】</b></p>